

「文化の森」 上野恩賜公園再生整備

上野恩賜公園再生整備事業について

《概要》

- 東京都立上野恩賜公園(以降「上野公園」とします)は、日本を代表する文化・芸術施設が集まり、歴史資源も多く、また都心に残された貴重なみどりの空間として多くのお客様をお迎えしています。
- 「上野恩賜公園再生整備事業」は、芸術・文化、みどり、景観、観光等の面で重要な役割を持っている上野公園を、日本の新しい顔となる「文化の森」として創造、再生してゆくものです。
- 整備方針は、造園や芸術、観光等の専門家および各文化施設館長、台東区などからなる検討会でご検討をいただき、また素案を広く一般に公表して、皆様のご意見を内容に反映しました。

【上野公園のあらまし】

開園面積	53.9ha	博物館等文化施設数	17 (園内及び周辺)
サクラ本数	約800本	国指定重要文化財数	13 (園内及び周辺)
寛永元年 1624	寛永寺建立工事開始		
明治6年 1873	上野の山一帯を公園に指定(太政官布達・日本最初の公園)		
明治9年 1876	東京府から内務省博物館に移管、のち明治23年に宮内庁に移管		
明治15年 1882	上野動物園開園		
大正13年 1923	公園地が東京市に下賜され「上野恩賜公園」となる		

《上野公園再生整備 基本方針》

- ①世界に向けた「文化」の発信強化
多様な文化イベント等を開催できる空間の創出
- ②魅力あるみどりと水の空間創出
みどりと水を活かした憩い、安らぎ空間の創出
- ③快適な利用の促進
安全、安心、快適に利用できる施設の整備

上野公園エリア別の整備方針

○エリアごとに順次整備をおこないます。

【不忍池エリア】

- 親水護岸や園路広場を整備して快適な池畔をつくれます。

【桜ヶ丘エリア】

- 江戸期に初めて花見のため庶民に開放されたエリアです。
- 多種のサクラを楽しめる花見の場を復活します。

【袴腰エリア】

- 風格ある入口広場を整備します。

【歴史資源エリア】

- 江戸の名所の景観を再現します。

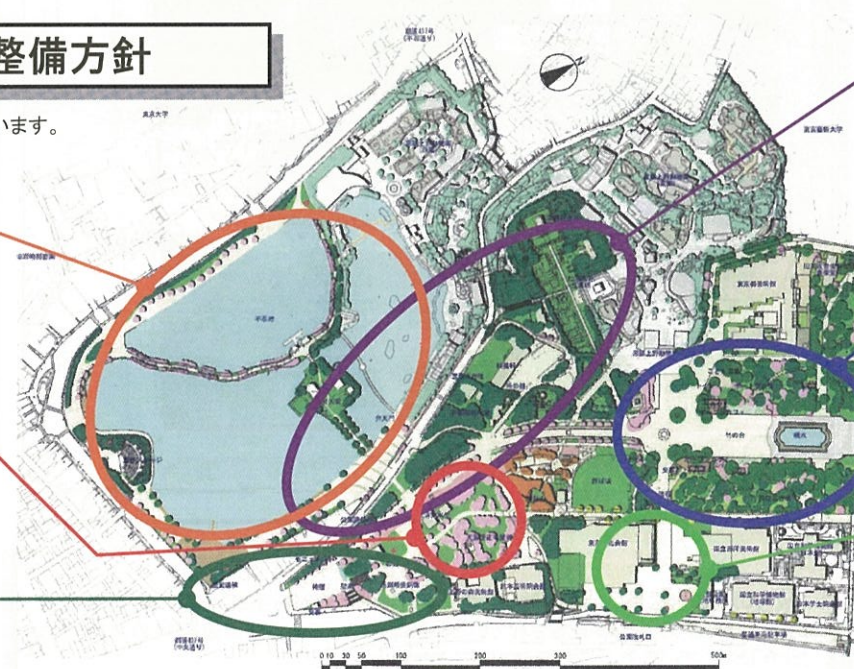
【竹の台・文化施設エリア】

- 「文化の森」の中核となる広場をつくり、噴水が新しくなります。
- 過密な樹木を整理して明るい樹林地になります。
- 休憩や食事ができるカフェができます。

【上野駅公園口周辺エリア】

- 安全、円滑な動線を確保し、「文化の森」の入口にふさわしい広場を整備します。

注)エリアの範囲はイメージです。



竹の台広場が完成しました

《竹の台広場は、「文化の森」の中核となる大広場です》

【竹の台ギャラリー】



【広場から国立博物館への見通し】

(昭和 37 年)

威風堂々とした歴史的建造物が望める、国立博物館の前庭としてもふさわしい景観でした。



【広場から国立博物館への見通し】

(平成 22 年) 着工前

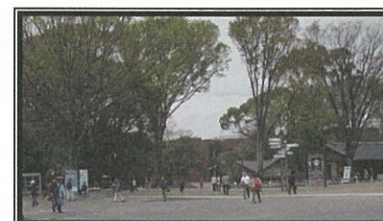
左の写真の約50年後。樹木が生長し、建物がほとんど見えなくなってしまいました。



【広場から国立博物館への見通し】

(平成 24 年)

樹木を移植し建物が現れました。建物への軸線を強調したデザインの噴水とともに、格調高い景観が復活しました。



【東京都美術館への新アプローチ】

巨木の間を抜け東京都美術館の正面へと導く、新しいプロムナードを整備しました。

【樹林地】

- 爽い、安らぐことができる明るい林になりました
 - ・元気のある大きな木などは残すように林の密度を調整して、明るい「上野の杜」になりました。
 - ・歴史的建造物への見通し景観が復活しました。
 - ・自然に発生した中低木などを取り除き、見通しをよくして安心、快適な林になりました。
- 快適に散策できる園路を整備しました
 - ・みどりを楽しみながら散策できる園路になりました。

【オープンカフェなど】

- 水とみどりに囲まれたオープンカフェをつくりました（2箇所）
 - ・多摩産の檜でつくった木造建築です。
 - ・公園のカフェとしてふさわしい、樹林地と馴染む落ち着いたデザインとしました。
 - ・オープンテラスでは木々に囲まれ、樹林地との一体感を楽しめます。
- トイレを改築しました（3棟）
 - ・落ち着いた雰囲気です。統一したデザインとしました。
 - ・災害時にも使えるトイレです。（マンホールトイレ併設など）



【「竹の台」の由来】

現在の竹の台広場には江戸時代、寛永寺の根本中堂がありました。根本中堂の正面両側に竹の台（うてな）が配置されていたことになみ、この広場周辺を「竹の台（たけのだい）」と称しています。

【広場・噴水】

- 「文化の森」の中核となる大広場をつくりました
 - ・多様な文化イベントの開催（客席最大1万人）に対応します。
- 新しい噴水を整備しました
 - ・新しい広場に合わせた、歴史的建造物と調和したデザインの噴水を整備しました。
 - ・水を近くに感じ、親しめるようになりました。
- 災害に強くなりました
 - ・避難場所、救助活動等の拠点、ヘリコプターの離発着などの機能を確実に果たせるよう、大型車対応の舗装としています。
 - ・消防用水などの確保のため、噴水の地下に貯水槽を設けています。池の水と合わせて、約470tを常に貯水しています。



東京都東部公園緑地事務所 事業推進課

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-47
03(3821)7334